

NEWS RELEASE

報道関係各位

2013年10月18日

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー
株式会社角川アスキー総合研究所

女子小4～6年生の「スマートフォン」 使用率は9%、48%が今後ほしいと回答 『子どもライフスタイル調査2013夏』結果のお知らせ

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐藤辰男、ブランドカンパニー長:塚田正晃、以下アスキー・メディアワークス)は、株式会社角川アスキー総合研究所(本社:東京都文京区、代表取締役社長:角川歴彦)と共同で『子どもライフスタイル調査2013夏』を実施いたしましたので、調査結果をお知らせいたします。

今回の調査結果は、アスキー・メディアワークスが発行する女の子向けゲーム&キャラクター情報誌「キャラぱふえ」の読者を対象に実施し、回答者から女子小学生を抽出して、集計分析したものです。

調査結果のポイント

- 女子小4～6年生の「スマートフォン」使用率は9%、一方、48%が今後ほしいと回答(P.2)
- スマートフォンでやりたいことは「ゲームをする」が女子小学生全体で74%。女子小4～6年生では、「メールをする」が50%、「音楽を聴く」、「LINE、ミクシィ、ツイッターなど SNS を使う」が48%と比率が高い。(P.3)
- 普段、音楽は「テレビで聴く」が44%、次いで「CD プレーヤー」が37%。(P.4)
- 女子小4～6年生の37%が電子書籍・雑誌を読んだことがあると回答。(P.6)
- パソコンや携帯電話・スマートフォンで音楽を聴くと回答の女子小学生の52%が「YouTube」で聴くと回答。(P.5)

◇調査概要◇

- | | |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| (1) 調査期間：
2013年8月1日～2013年9月20日 | (4) 集計サンプル数：合計 629 件
女子 小1～3年生 380 件
女子 小4～6年生 249 件 |
| (2) 調査方法：雑誌添付ハガキによるアンケート | |
| (3) 調査対象：女子小学生
雑誌「キャラぱふえ」の読者を対象に調査を実施し
回答者から女子小学生のみを抽出して集計した。 | |

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー
事業推進部TEL: 03-5216-8123 FAX: 03-5216-8124 E-mail: plan-pr@ml.asciimw.jp

※なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「株式会社KADOKAWA /アスキー・メディアワークス調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

『子どもライフスタイル調査 2013 夏』

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー
株式会社角川アスキー総合研究所

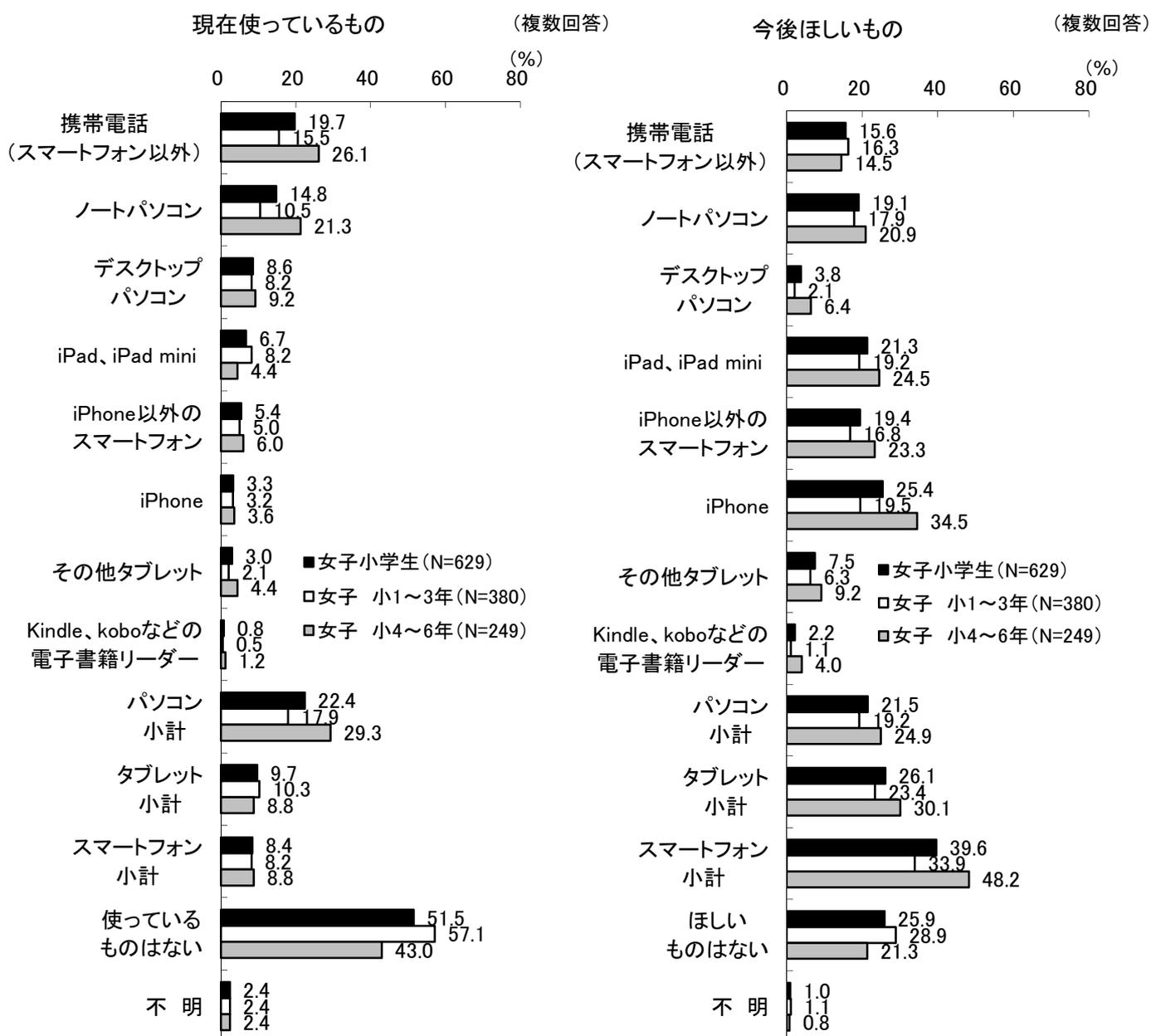
(1) デジタル情報機器について

○自分で使っているもの、今後欲しいもの

女子小4～6年生の「スマートフォン」使用率は9%、一方、48%が今後ほしいと回答。

自分で使っているデジタル情報機器を聞いたところ、女子小4～6年生の「スマートフォン」使用率は9%、「タブレット」の使用率は9%でどちらも1割程度にとどまっている。一方、ほしいものは、「スマートフォン」が48%、「タブレット」が30%となり、「パソコン」の25%を上まわる結果となった。

※デジタル情報機器：パソコン、携帯電話、スマートフォン、タブレット。



※パソコン小計は、「ノートパソコン」と「デスクトップパソコン」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値。

※タブレット小計は、「iPad, iPad mini」と「その他タブレット」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値。

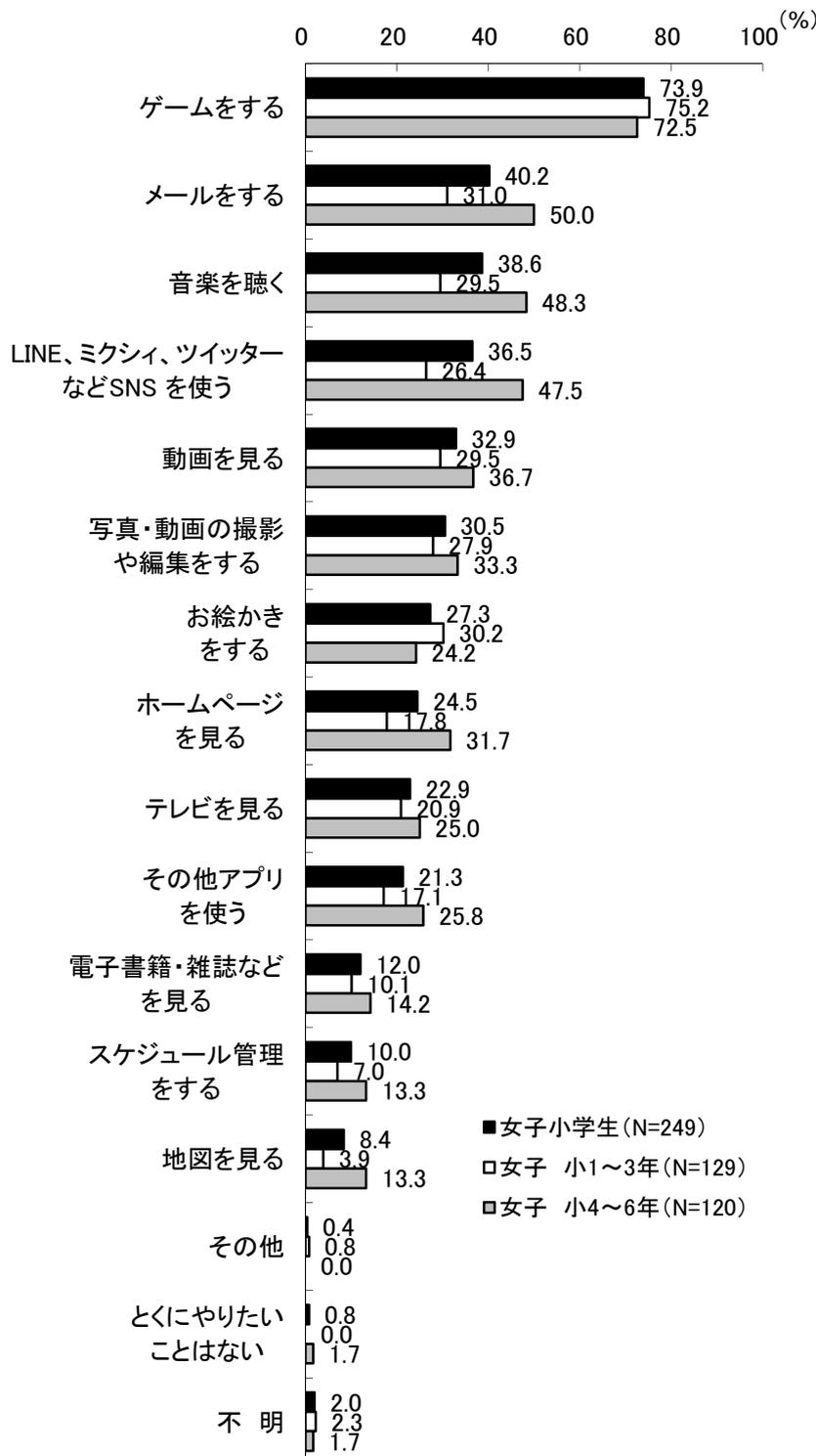
※スマートフォン小計は、「iPhone」と「iPhone以外のスマートフォン」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値。

○スマートフォンでやりたいこと(スマートフォンをほしいとの回答者)

スマートフォンでやりたいことは「ゲームをする」が女子小学生全体で74%。女子小4～6年生では、「メールをする」が50%、「音楽を聴く」、「LINE、ミクシィ、ツイッターなどSNSを使う」が48%と比率が高い。

スマートフォンをほしいと回答した女子小学生にスマートフォンでやりたいことを聞いたところ、「ゲームをする」との回答が74%を占め、最も高い比率となった。女子小4～6年生では、「メールをする」50%、「音楽を聴く」48%、「LINE、ミクシィ、ツイッターなど SNS を使う」が48%と比率が高い。

(複数回答)

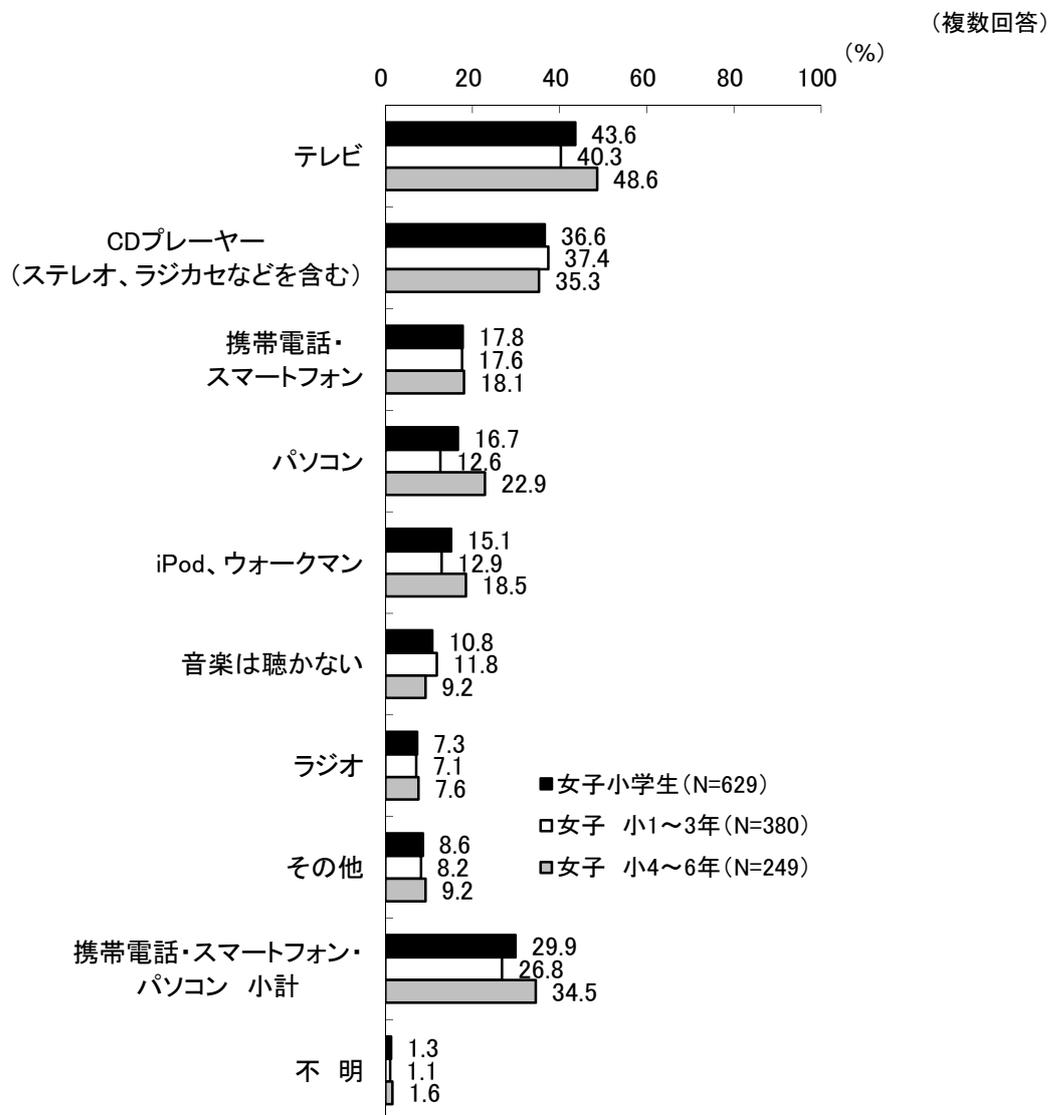


(2)音楽について

○普段、音楽は何で聴くか

普段、音楽を「テレビで聴く」が44%。

女子小学生に普段、音楽を何で聴くかを聞いたところ、「テレビ」が44%と最も高い比率。次いで「CDプレーヤー」が37%。

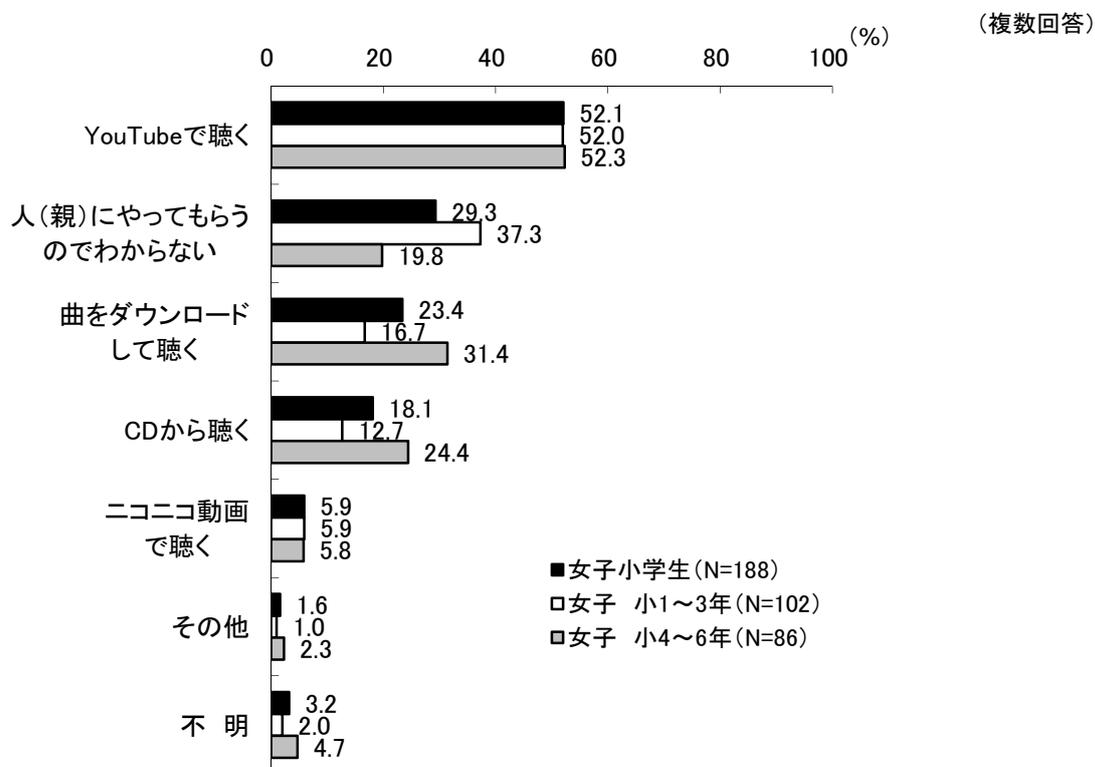


※携帯電話・スマートフォン・パソコン小計は、「携帯電話・スマートフォン」と「パソコン」のいずれかを選択した人の比率で、重複を除いた値。

○パソコンや携帯電話・スマートフォンでの音楽の聴き方（音楽を携帯電話・スマートフォン・パソコンで聴くとの回答者）

利用者の女子小学生の52%が「YouTube」で聴くと回答。

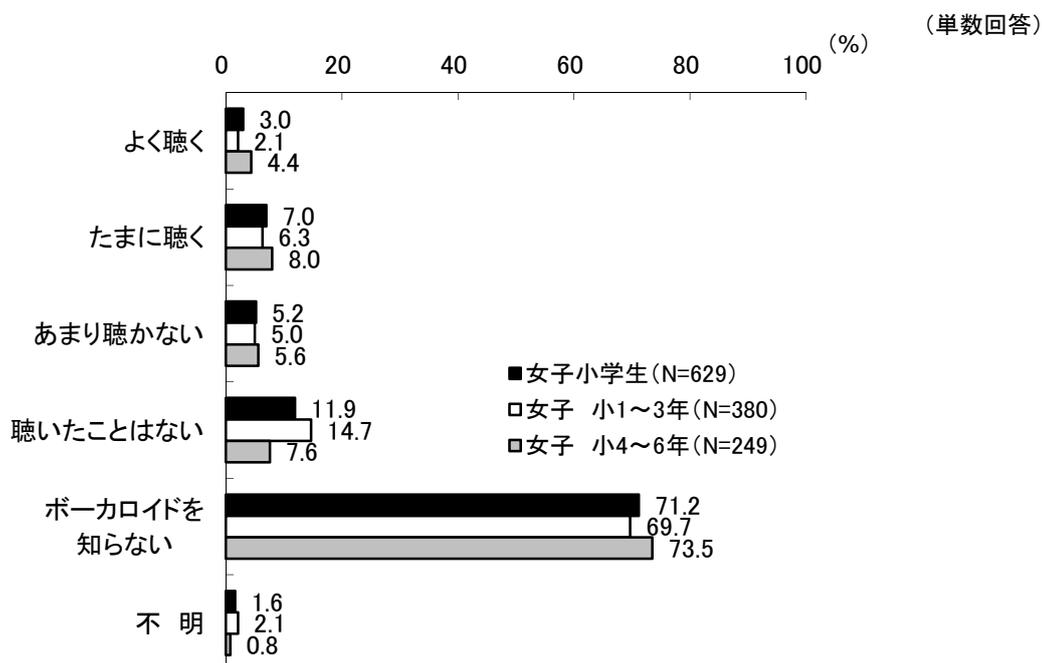
パソコンや携帯電話・スマートフォンでの音楽の聴き方について聞いたところ、利用者の52%が「YouTube」で聴くと回答。ついで女子小1～3年生は「人(親)にやってもらうのでわからない」が37%、女子小4～6年生は「曲をダウンロードして聴く」が31%。



○ボーカロイド（初音ミクなど）の楽曲について

女子小4～6年生の12%が「よく聴く」または「たまに聴く」と回答。

ボーカロイド(初音ミクなど)の楽曲について聞いたところ、女子小4～6年生の12%が「よく聴く」または「たまに聴く」と回答。

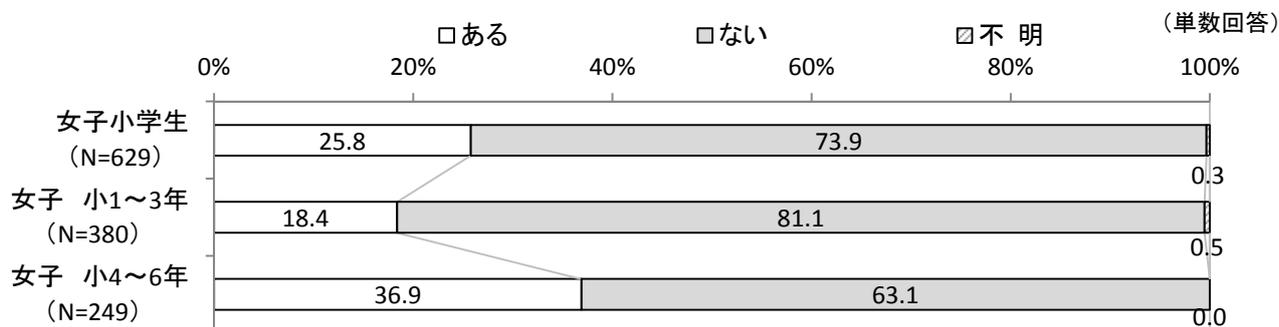


(3) 電子書籍・雑誌について

○電子書籍・雑誌の閲読の有無

女子小4～6年生の37%が電子書籍・雑誌を読んだことがあると回答。

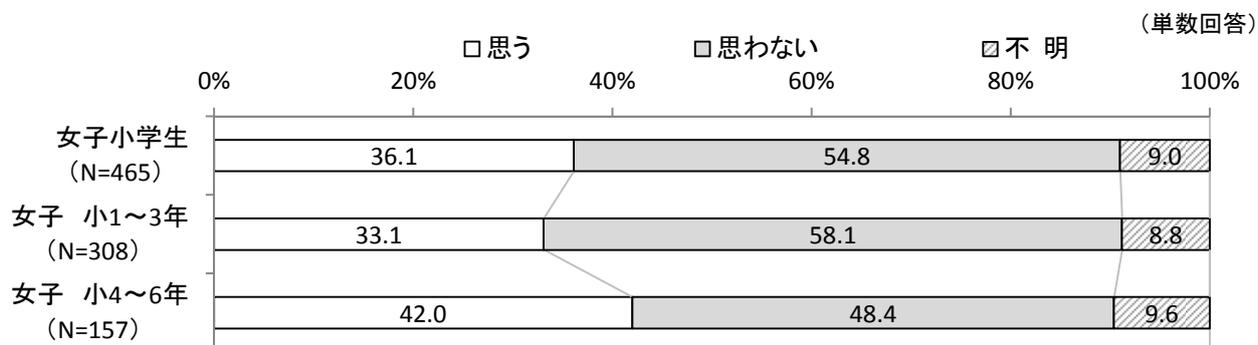
電子書籍・雑誌を読んだことがあるかどうか聞いたところ、女子小4～6年生の37%が、「ある」と回答。



○電子書籍・雑誌を今後読んでみたいか(「電子書籍・雑誌を読んだことがない」との回答者)

電子書籍・雑誌を読んだことのない女子小学生の36%が、「今後読んでみたい」と回答。

電子書籍・雑誌を読んだことがないと回答した女子小学生に電子書籍・雑誌を今後読んでみたいか聞いたところ、36%が、「今後読んでみたい」と回答。女子小1～3年生で33%、女子小4～6年生で42%と女子小4～6年生の方が高い比率。



(4) 英語とダンスの学習(授業)について

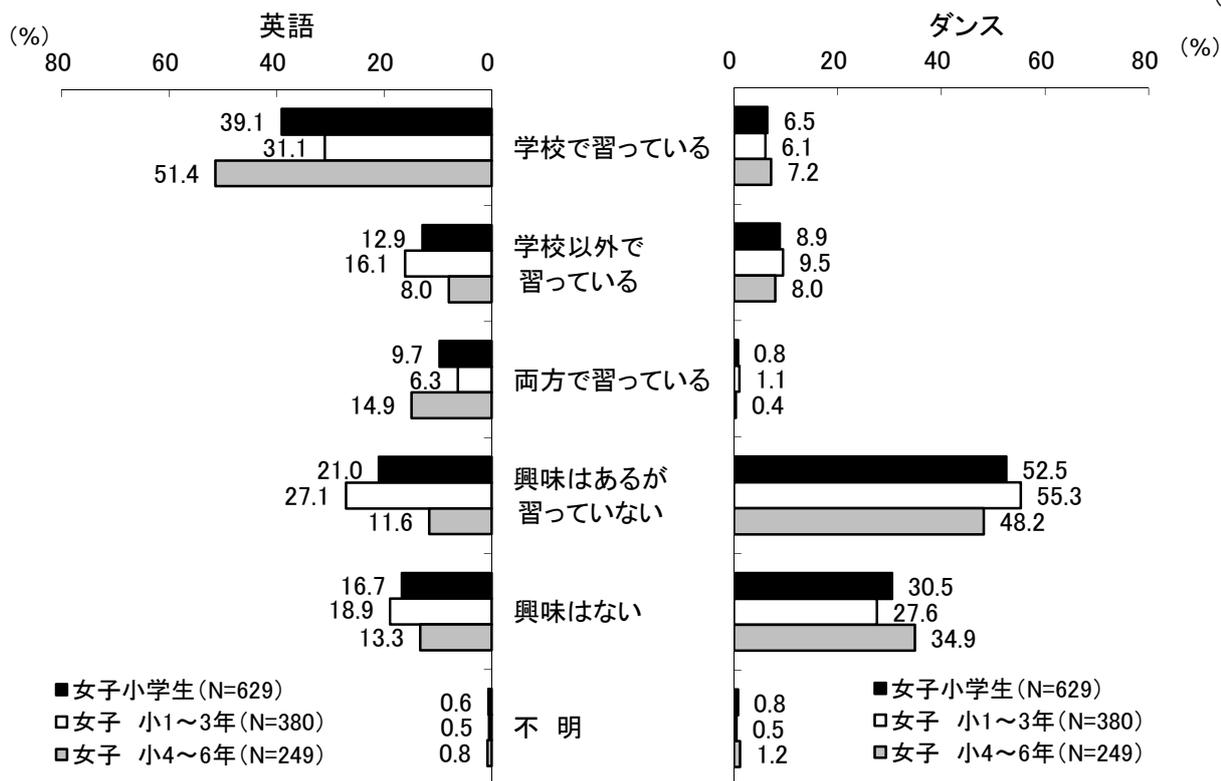
○英語とダンスの学習(授業)について

女子小1～3年生で31%。女子小4～6年生で51%と高学年では約半数が「英語を授業で習っている」と回答。

英語とダンスの学習について聞いたところ、女子小1～3年生で31%。女子小4～6年生で51%と高学年では約半数が「英語を授業で習っている」と回答。英語は、女子小4～6年生では「学校で習っている」「学校以外で習っている」「両方で習っている」を合わせると74%と高い比率。

一方、ダンスは、「学校」、「学校以外」、「両方」を合わせても女子小学生全体で16%にとどまっている。

(単数回答)



【調査対象の雑誌媒体について】

今回の調査は、以下の1誌の読者を対象に行ったものです。



雑誌名	: 「キャラぱふえ」
内容	: 小学生の女の子に人気のゲームやキャラクターのコミックなどを多数掲載。文具セットやポーチなど、クオリティの高い付録がついています。
発行形態	: 雑誌／偶数月1日発売
発行部数	: 180,000部
定価	: 680円（税込）
判型	: AB判
発行	: 株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス
男女比	: 女100
平均年齢	: 8.7歳

■株式会社角川アスキー総合研究所とは

KADOKAWAの法人向けの調査・コンサルティング事業や、出版事業、教育支援事業などを展開するシンクタンク会社。テクノロジー分野のイノベーターとして活躍している方々を主席研究員として招聘し、その方々の知見とKADOKAWAの持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力、技術力を総合的に発揮することで、日本のメディア・コンテンツ産業全体の発展に貢献することを目指しています。

- 角川アスキー総合研究所URL: <http://www.lab-kadokawa.com/>

株式会社角川アスキー総合研究所

TEL:03-5216-8125

■アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーとは

アスキー・メディアワークスなど事業会社8社が、KADOKAWA合併後もそれぞれのブランドのもとで自由に事業を展開、発展させていくための新しい組織概念が『ブランドカンパニー』です。

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーは、「電撃」「アスキー」「魔法のiらんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

- KADOKAWA公式サイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

- アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー公式サイト: <http://asciimw.jp/>

※2013年10月1日、株式会社アスキー・メディアワークスは株式会社KADOKAWAと合併しました。

以上